FREE
ご自由に お持ちください。

No.810
2021 March
3

岐阜県の森林・林業

森林（もり）のたより

News of the forest

令和2年度 岐阜県緑化運動
ポスターコンクール入賞作品が決定しました!

最優秀

小学校・低学年の部

岐阜市立華陽小学校2年
荒井（あらい） 航（こう）さん

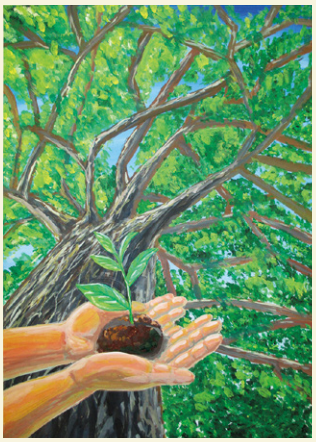
小学校・高学年の部

輪之内町立福束小学校6年
近藤（こんどう） みうかさん

中学校の部

大垣市立南中学校1年
黒岩（くろいわ） 涼風（すずか）さん

高等学校の部



岐阜県立大垣南高等学校1年
中田（なかた） 杷那（はな）さん

●詳しくは、7ページをご覧下さい。

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会
E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp
http://www.g-forestry.or.jp （公社）岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

森林・林業関係イベントカレンダー（3~5月）

一般向け

開催日	行事名等	内　容　等 （概要、定員、受講料、申込期限など）	場　所 申込（問合せ）先／TEL
3月1日(月)～ 5月31日(月)	**緑の募金（春期）**	「緑の募金で進めようＳＤＧｓ」をスローガンに家庭募金、企業募金、職場募金などを行います。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577

目次 Contents

イベントカレンダー（一般向け）……2
「匠の国・岐阜県伝統建築家」に新たに10名を認定しました。……3
山の歳時記(187) セリ……4
森林と人を活かす知恵(98) 真の森林技術者を目指そう……5
岐阜県みどりの少年団活動発表大会を開催しました……6
国土緑化運動標語の特選に輝きました!!……6
令和2年度 岐阜県緑化運動
ポスターコンクール入賞作品が決定しました!……7
岐阜県緑の博士（グリーンドクター）を認定しました……7
ぎふ木遊館通信……8
morinosプログラム紹介!!……9
山のおじゃまむし(356) ―レッドデータブック、ギフチョウ―……10
国有林の現場から(53) 岐阜森林管理署におけるニホンジカ対策……11
木の香るぎふの施設(96) 第5コスモス苑（生活介護施設）……12
シリーズ：『森林・環境税』で"緑豊かな清流の国ぎふづくり"(11)……13
研究コーナー シイタケを科学して保存に役立てる……14
地域の人 『林業を志して!』……15
普及コーナー 地域の施業技術を引き継ぐ取り組み……16
スマート林業通信(9) 林業安全教育360VRの体験……17
環境保全モデル林に行ってみませんか ～その1～……18
林業者向けお知らせ……19
市況……20

表紙●令和2年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール入賞作品が決定しました!

「匠の国・岐阜県伝統建築家」に新たに10名を認定しました。

県では、木造軸組構法（※）などの伝統的な木造建築について、特に卓越した技能、知識、経験を有し、後継者の育成に多大な実績のある建築大工技能士を、「匠の国・岐阜県伝統建築家」として認定し、技能の継承と社会的評価の向上に努めています。

令和2年度は新たに10名の方を認定し、平成元年度からこれまでの認定者は428名となりました。

今後も、認定された方々のますますのご活躍を期待いたします。

なお、認定者一覧については、県産材流通課のホームページにも掲載しています。

（※）構造体が柱や梁などの軸材で構成される建築技法

【県産材流通課　酒井利明】

令和２年度「匠の国・岐阜県伝統建築家」認定者

おいだ よしぞう
種田 善蔵（岐阜市）

わたなべ ひろし
渡辺　博（海津市）

のむら しげお
野村 重夫（養老町）

かねさだ ゆうじ
兼定 裕嗣（郡上市）

かのう かつひこ
加納 勝彦（七宗町）

いまい よういち
今井 洋一（中津川市）

ないき かつお
内木 勝雄（中津川市）

ほそえ りょうぞう
細江 良三（下呂市）

こいけ ふみはる
小池 二三春（下呂市）

たぐち とものり
田口 保則（下呂市）

※敬称略
認定番号順

山の歳時記 187
YAMA NO SAIJIKI

セリ

文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「そろそろセリが採れるかも」と言いながら出かけた山の入り口で、小川をのぞき込むと青々としたセリが生えていました。

セリ（Oenanthe javanica）は日本原産のセリ科の多年草で、北海道や本州、四国、九州など全国各地の山際の小川や湿地、水田のあぜ道、休耕田などに群生します。

春の七草の代表でもある「セリ」の和名は、「競り合う」ように若葉を群生させて成長する様子が語源となっています。

別名シロネグサ（白根草）と呼ばれるほど、白く細い根が大量に生えており、宮城県の仙台名物「せり鍋」では根の付いたセリが鍋の主役となっています。

属名 Oenanthe はギリシャ語の「oinos（酒）と anthos（花）」が語源で、javanica は「ジャワ島」を意味します。なお英語では、Japanese Parsley（日本のパセリ）と呼ばれます。

根元の根生葉には長い葉柄があり、茎の上になるほど葉柄が短くなります。葉は小さな葉三枚を基本とした1回3出羽状複葉、もしくは2回3出羽状複葉が互生します。

繁殖の主体は主にランナー（匍枝：ふくし）によっており、例えばイチゴの枝が伸びて新しい個体ができるように、ランナーを伸ばして繁殖し、茎の先端に花軸ができると成長が止まります。夏には花茎が伸びて先端に、白色の小花を多数つけた複散形花序をつくります。成長が一回止まると、脇芽が伸びはじめ増殖を繰り返すことで溝や湿地などに群生します。水に対する耐性が強いため水中でも生育することができ、また背の高いヨシ（Phragmites australis）が茂るような薄暗い環境では、高さ2mに達することもあります。

全草にある特有の香り成分は、カンフェンやβ-ピネン、ミリスチン、フタル酸ジエチルエステル、ポリアセチレン化合物です。これらの成分が味覚神経を刺激し、胃液の分泌を高め、食欲を増進させるとともに、発汗や保温作用があり風邪や冷え性に効果的とされます。他にも冷え性には生葉を刻み入浴剤とし、しもやけには生葉の絞り汁を患部に塗布し、解熱や神経痛には夏の開花期に採取した全草を煎じて服用します。

流通しているセリは見かけと生育地によって、地面をはって成長し直立する野生種の「田ゼリ」と、初めから直立する栽培種の「水ゼリ」に区別されます。

5月頃には同じセリ科で、猛毒のドクゼリ（Cicuta virosa）（別名オオゼリ）が伸び始めるため、「五月のセリは食べるな」と混同を避ける格言もあるほどです。ドクゼリはセリ特有の香気を持たず、根茎が緑色で太く、節も多くタケノコ状になっています。全草にポリアセチレン系のシクトキシン（Cicutoxin）を含み、呼吸麻痺や痙攣、中毒死を引き起こします。

▲栽培されたセリ(販売品)

森林と人を活かす知恵 98

真の森林技術者を目指そう

岐阜県立森林文化アカデミー　教授●横井　秀一

右の写真を見てください。皆さんは、この森林をどう評価しますか。

奥(稜線)と手前の常緑針葉樹はスギ、中腹の針葉樹はカラマツ、それ以外は落葉広葉樹という、パッチ状の針広混交林です。樹種構成が多様だと言えます。各林分の境界が直線的ではなく、景観も優れていると思います。目指すべき森林の姿と考えた人もいることでしょう。

意図してこの森林をつくりあげたのなら、その森林技術者はたいしたものです。しかし、残念ながらそうではありません。この森林は、造林の失敗の結果です。自然の回復力がすごかっただけで、技術者としては恥ずべきことなのです。

では、どんな失敗か。もう気づかれた方がいるかもしれませんね。そう、これは雪圧害による不成績造林地なのです。

この場所は、飛騨の標高千メートルくらいのところです。当然、多雪地です。植栽したスギやカラマツは、雪で潰されてしまいます。運良く成木にまで育つ木もありますが、途中で枯れてしまう木もあります。植栽木が枯れた場所には、もともとそこで育とうとしていた広葉樹が育ちました。この森林は、こうしてできた混交林だと考えられます。

この事例は結果オーライです。でも、造林に失敗したことは事実です。技術者であれば、そのことから目をそらしてはいけません。何も、この山を担当した技術者を責めるつもりはありません。すでに活躍されている技術者に、あるいはこれから技術者になろうとする人たちに、こうした事例を反面教師として、技術者のあるべき姿を考えてほしいと思っているだけです。

雪が多く積もれば、埋もれた苗木は倒れます。幹に柔軟性がなければ折れるかもしれません。それが毎年くり返されれば、植栽木はまともには育ちません。育ったとしても、幹に曲がりができて商品価値は低くなるでしょう。こうしたことは、事前に予見できたはずです。わかっていて造林したのなら、倫理観に欠ける行為です。知らなかったのなら、技量が低かったと言わざるを得ません。どちらも、真の技術者と呼べる姿ではありません。

人が行動するとき、結果を予見しています。ほとんどの場合、実現したい結果や望ましい結果を想定して、「こうすれば、そうなるはずだ」とか「こうなりたいから、そうする」と考えて行動しているはずです。これは、日常生活でも仕事でも変わりません。技術者が技術を提供するときも同じです。

ここで二つの問いかけをします。一つめ、「望む結果が具体的に見えていますか」。二つめ、「やろうとしていることで、本当にその結果が得られますか」。技術者であれば、この二つに自信をもって「はい」と答えられるはずです。

ただ、それが根拠のない自信であってはなりません。そこには、エビデンス(証拠・根拠)が必要です。エビデンスに基づく技術を提供できるからこそ、プロの技術者と呼べるのです。

私たちは、これまでの経験や研究によって、多くのエビデンスとなり得る情報を持っています。足りないところは、これからの研究によって補われるでしょう。それは、研修や教育を通じて学ぶこともできます。

それを学び、身につけ、活用するのは技術者です。技術者とその卵たちのこれからを期待します。

●詳しい内容を知りたい方は　TEL (0575) 35-2525　県立森林文化アカデミー まで

岐阜県みどりの少年団活動発表大会を開催しました

「令和２年度岐阜県みどりの少年団活動発表大会」は、発表の様子を動画に収録して審査する方式で開催しました。参加した少年団の活動テーマは、次のとおりです。

●城山小学校みどりの少年団：学校周囲の森の観察（３年生）とカキの栽培（５年生）
●北方小学校みどりの少年団：きれいな水を生み出す取り組みと豊かな森林を守る方法
●中野方小学校みどりの少年団：棚田の米作り、森の健康診断、木の駅プロジェクト等

審査の結果、「北方小学校みどりの少年団」が最優秀賞に選ばれました。活動内容の充実度や継続性が的確に表現され、新たな発見や驚きに対する素直な反応が評価されました。

大会の開催にあたり、ご指導いただいた学校の先生方、保護者の皆様、地域の方々に感謝申し上げますとともに、みどりの少年団の皆さんには、森林や緑を愛する心を大切に、活動を続けていってほしいと思います。

城山小学校みどりの少年団

参加少年団及び審査結果

最優秀賞
北方小学校みどりの少年団（揖斐川町）
優秀賞
中野方小学校みどりの少年団（恵那市）
奨励賞
城山小学校みどりの少年団（海津市）

北方小学校みどりの少年団

中野方小学校みどりの少年団

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会　専務理事　黒崎隆司】

国土緑化運動標語の特選に輝きました！！

公益社団法人国土緑化推進機構の令和３年用国土緑化運動・育樹運動の標語に全国の３７道県から３４５点の応募があり、審査の結果、羽島市立福寿小学校３年生の登坂　颯さんの作品が、見事、特選に輝きました。

登坂さんは、家の周りに住宅などが増え、緑が少なくなっていく様子を見て、「緑がいつまでもあるといいなあ」という素直な思いを込めて、標語を作られたそうです。

登坂さんの標語は、令和３年用の国土緑化運動ポスターに使用され、県内をはじめ、全国に配布されます。

ふるさとの　かがやく緑　いつまでも

羽島市立福寿小学校　３年　登坂（とさか）　颯（はやて）

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会　専務理事　黒崎隆司】

令和２年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール
入賞作品が決定しました！

県では、緑化の意義などを普及啓発するため、昭和58年度から県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の児童、生徒を対象に「岐阜県緑化運動ポスターコンクール（後援：岐阜県教育委員会、（公社）岐阜県緑化推進委員会）」を実施しています。

令和2年度は、県内81校から383点の応募があり、審査の結果、入賞作品52点が決定しました。

なお、入賞作品は、令和3年3月16日（火）午前10時から令和3年3月28日（日）午後5時まで　岐阜県図書館1階　楽書交流サロンにて展示します。

■最優秀

小学校・低学年の部

岐阜市立華陽小学校2年
荒井（あらい）　航（こう）さん

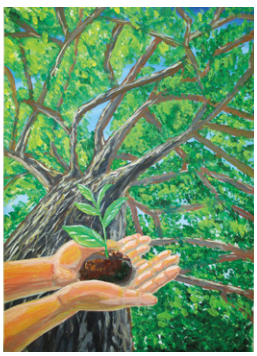
小学校・高学年の部

輪之内町立福束小学校6年
近藤（こんどう） みうかさん

中学校の部

大垣市立南中学校1年
黒岩（くろいわ） 涼風（すずか）さん

高等学校の部



岐阜県立大垣南高等学校1年
中田（なかた） 杷那（はな）さん

※最優秀及び優秀作品について、令和３年用国土緑化運動・育樹活動ポスター原画コンクール（主催：（公社）国土緑化推進機構）へ推薦したところ、以下の２名が入賞されました。また、特選に選ばれた黒岩さんの作品は、育樹運動ポスターの原画に使用されます。

特選　文部科学大臣賞・国土緑化推進機構会長賞　　大垣市立南中学校1年　黒岩（くろいわ） 涼風（すずか）さん

入選　国土緑化推進機構理事長賞　　岐阜市立華陽小学校２年　荒井（あらい） 航（こう）さん

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（3035）恵みの森づくり推進課緑化推進係まで

岐阜県緑の博士（グリーンドクター）を認定しました

県では、巨樹・古木などの貴重な樹木の保護、保存を図るため、樹木の生理、生態等の知識を有し、樹木の保護、治療等を体系的、総合的に判断できる専門技術者を「岐阜県緑の博士（グリーンドクター）」として、平成7年から認定しています。

岐阜県緑の博士は、経験と知識レベルにより３Ａ級、２Ａ級、Ａ級の３段階に区分（３Ａ級が最も高度）されています。

令和３年１月１４日付けで４名（Ａ級）の方に認定証を交付しました。

（本年度、２Ａ級、３Ａ級の申込なし）

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度の認定証授与式は中止いたしました。

被認定者

Ａ級（受付番号順）

加納孝将 氏　　長尾有祐 氏
井戸一隆 氏　　纐纈和也 氏

岐阜県緑の博士（グリーンドクター）

岐阜県が認定する公的な資格で、これまでに173名（3A級9名、2A級28名、A級136名）を認定。認定された方は地域の樹木保護や緑化推進に貢献されています。

A級研修の様子

【恵みの森づくり推進課】　●詳しい内容を知りたい方はTEL 058-272-1111 内線（3031）恵みの森づくり推進課まで

ぎふ木遊館通信

ぎふ木遊館では、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、開館しています！

2月のイベント報告

＜2月2日に「鬼めくり」を実施しました！＞

「鬼めくり」を知っていますか？「鬼めくり」とは、加子母や下呂に古くから伝わる魔除けの風習です。節分の日、鬼の侵入を防ぎ健康と安全を祈り、「鬼札」と呼ばれるお札を家の玄関や戸口に貼ります。

「鬼札」は、鬼の顔と13個の点を書いて、一番下に一筆書きの星を書きます。

家にやってきて鬼札を見た鬼は、手足の指が3本ずつで合わせて12本しかないので鬼札に書かれた13個の点を数えられず、さらに鬼は一筆書きの星を見て、どこから書き始めたのか描き方に迷い混乱し、逃げていくそうです。

そして節分の日、子どもたちが町内を回りその鬼札をめくっていくことで厄も取り払うことになるそうです。

この風習にちなみ、ぎふ木遊館でも「鬼めくり」を行いました。

事前に来館した皆さんに鬼札を書いていただき、節分当日の2月2日、館内の至る所に貼った鬼札を子どもたちにめくってもらいました。

親子で「鬼札」探しに熱中し、岐阜県に根付く文化で節分を楽しみました。

木遊館にも鬼が登場！
みんなで「おにのパンツ」を歌いました。

木育プログラム

ぎふ木遊館は、昨年8月下旬頃から土日を中心に木育プログラムを開始し、1月末までに 53 回実施し、800 名を超えるたくさんの方に体験いただいています。

紙やすりで木を削って積み木を作る「つみき BANK」、トンカチを使って組立て行灯を作る「あかりづくり」、電動糸鋸を使って好きな形の小さなとびらを作る「トビラノムコウ」など、小さなお子さまから小学生、大人も楽しめる様々なプログラムを実施しました。参加者からは「木の良い香りに癒された。」「木の良さを知ることができた。」「子どもと一緒に物を作れて楽しかった。」「子どもの成長を感じた。」などの感想をいただきました。今後も実施しますので、興味のある方はぜひご参加ください。

緊急事態宣言発令期間中は、木工室での木育プログラムを中止しています。
ぎふ木遊館のイベント情報等については、公式ホームページでご確認ください。

やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介！！

令和2年7月22日に岐阜県立森林文化アカデミーにオープンした森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

今回は、自然体験活動指導者のためのプログラム「リスクマネジメント講座（危険回避の基礎）」を、NPO法人自然体験活動推進協議会（CONE）の大西琢也講師を迎えて開催しました。

リスクマネジメントとは一般的に「損失などの回避や低減をはかるプロセス」と言われています。

森の中の活動は、蛇や蜂、かぶれや毒性のある植物、倒木や枯れ枝、急な天候の変化など、様々な危険があります。自然体験活動指導者が事故やけがを未然に防ぐための準備、工夫、意識するポイント等を学ぶことで、事故などを減らすと共に、参加者・保護者なども安心して活動に参加できることと思います。

講座では、一日かけて、座学で危険回避の基礎を学ぶと共に、ワークショップを行い座学で得た知識を自分の現場に置き換えてどのように行うべきか学びあいました。

講師の方からは、「リスクマネジメントは、誰かが判断するのではなく、だれでも判断できる“基準”があることが重要だ。そのために、正解よりも「回答」、思考よりも「試行」が重要だ。」、また、事故が発生した場合に想定される裁判における責任追及の視点について、「結果予見義務や結果回避義務を怠り事故が発生すると、注意義務違反として過失を問われることになる。」などのお話がありました。

▲座学風景

▲ワークショップ

リスクの概念

- リスク：身体的、心理的、社会的、経済的損失が発生するかもしれない不確実な要素
- ハザード：環境的、人的、物的リスクを高める要因
- ベリル：ハザードのコントロールができなければアクシデントに陥る状態
- アクシデント：身体的、心理的、社会的、経済的損失が発生した状態
- インシデント（ヒヤリハット）：損失はないが重大な事故につながる恐れのある事象

安全管理の四本柱

- 安全管理マニュアルの整備
- スタッフトレーニングの管理
- 保険の加入
- 安全管理者の設置

▲講習会参加者の集合写真

▲終了証の授与

一日の講習会が終わり、最後に講師から受講者全員へ終了証が手渡されました。

受講者にとっては、自らの自然体験活動における安全管理を見直すきっかけとなったと思います。morinosとしても、県内の自然体験活動指導者の方々のレベルアップとリスクマネジメントに配慮した活動が広がるようにこの講座を継続的に開催していきたいと考えています。

このほかにも、morinosでは人と森をつなぐため様々なプログラムを実施していきます。興味のある方はご連絡ください。

ホームページ　https://morinos.net
YOU TUBE　検索「morinosチャンネル」
開所時間　10:00～16:00
定休日　毎週火･水曜日

山のおじゃまむし

ーレッドデータブック、ギフチョウー【第356回】

自然学総合研究所　野平 照雄 ● *Teruo Nohira*

環境省が「絶滅のおそれのある野生動植物（レッドデータブック）」調査を始めたのは30数年前である。当時はレッドデータブックとして注目されたが、それが現在では各県や、さらに市や町でも独自の種を指定しているところもある。こうなると、レッド、レッドで貴重種が貴重種でないような気がしてくる。また、これらのレッドデータブックに掲載されている種を見ていると、「あれ?」と思うようなこともある。例えば、国のレッドでは絶滅していなくなっているのに、県では生きている。おかしな話である。とは言うものの、私自身も県と岐阜市の選定委員として参加しているので、自分で自分の首をしめているようだと笑えてくる。しかし、レッド種を決めるのは大変である。人によって考え方が違うからである。8年前、私は岐阜市のレッド種を選定したが、その見直し作業を進めている。これで頭の痛い問題に直面している。ギフチョウである。

×　×　×　×

岐阜市では市のレッド種を決めるため部門ごとに調査を始めた。私は昆虫担当の責任者となり、数人で調査した。その結果、文献も含め、岐阜市には4,000種近くいることがわかった。この結果をもとにレッドデータブックに掲載する種をきめる作業にかかった。参考にしたのが国や岐阜県のレッド種。しかし、今回貴重種は数種しか確認できなかった。やはり貴重種は簡単に見つからないと思った。そこで文献で記録されているレッド種を含めて検討した。この時意見が分かれたのがギフチョウである。このチョウは国や県でもレッド種となっているが、岐阜市では各地で多数見られる普通の蝶。これを入れるのならバッタやイナゴも指定すべきだという意見が出た。それにギフチョウは岐阜昆虫博物館の初代館長の名和靖氏が日本で初めて見つけ、岐阜市とはゆかりの深い蝶である。もし、ギフチョウを外せば名和初代館長に失礼に当たるという意見もあった。そこで現在の館長である名和哲夫氏の意見を聞いてみた。すると意外な返事が返ってきた。「ギフチョウは絶対入れるべきではない。」この一言でレッド種とはしなかった。

×　×　×　×

しかし、「なぜ、ギフチョウが入っていないの」という声があちこちから聞こえてきた。ほとんどが岐阜市民だ。やはり入れるべきだったと悔やんだ。次は何としてもギフチョウを入れなければと、名和さんにお話しした。しかし、返事は同じ。「いくら野平さんから言われても私は反対です。これは私の信念ですから」。さらに「私は国や県に関係なくレッド種を決める必要ないと思っています。その前に雑木林、草地、田畑、小川などの開発を止めるべきです。これで多くの昆虫が住み家を奪われています。これがわからないのでしょうか」。さらに名和さんは、「レッドデータという言葉が知れ渡るにつれ、昆虫を採ることは悪いことだと勘違いしている人が多いのではないか。それは子供たちと捕虫網を持って昆虫採集をしていると、冷たい目で見られることがあるからだ」という。これでは子供たちが可哀そうだ。ますます虫から離れていく。これが悲しいと名和さん。そこで昆虫少年が増えればと、子供たちと野外で昆虫観察を行っているという。この熱意。私は名和さんの話に心を打たれた。ギフチョウのことは頭から消えてしまった。

×　×　×　×

私はレッド種の考えが少し変わってきた。今までは滅多に取れないような貴重種がレッド種だと思い、珍しい種を選んできた。しかし、こうした種は長い間に築き上げた彼らの生活史。数が少なくても、生き延びていけるのではないか。これに対しどこでも見られる普通種はどうだろう。昔にくらべずいぶん少なくなっているものもいる。例えば赤とんぼ（アキアカネ）。秋になると群がって飛び舞っていたが、最近はほとんど見ることができない。それにイナゴの仲間。これも少なくなった。私の子供の頃は、これを捕まえ鍋で炒って、御飯のおかずや、おやつ代わりにして食べたものだ。あの独特の味とこうばしい香り。今でも忘れることが出来ない。これらが少なくなったのは、農作業の機械化と農薬を大量に使うようになってきたからである。昔のように手作業で田畑を耕し、農薬を使わなければ、赤とんぼもイナゴも増えてくるであろう。しかし、コメや農作物の収量が大幅に少なくなり、農家は生活できなくなる。片方を守ろうとすれば片方が犠牲になる。今、猛威を振るっている新型コロナと同じではないか。そんな気がしてきた。コロナで窮屈な生活をしているせいか、赤とんぼとイナゴには郷愁にかられる。夕日を浴びて天空を乱舞する赤とんぼ。田畑をぴょんぴょん跳ねるイナゴの群れ。まるで童話の世界だった。こんな光景が次々と脳裏をかすめ懐かしくなった。そのうちに「ウサギ追いしかの山、こぶな釣りしかの川、夢は今もめぐりて、忘れがたき故郷----」。当時よく唄ったこの童謡をつい口ずさんでしまった。

国有林の現場から 53

岐阜森林管理署における ニホンジカ対策

岐阜県の南東部に位置する加茂郡七宗町に所在する七宗国有林では、ニホンジカによる造林地被害を防ぐための取り組みが平成30年度から継続して行われています。

特徴としては、忌避剤による植栽木の防護とニホンジカの生息数を減らすための捕獲を並行して行うことで健全な造林地の生育が図られないかと進められてきたものです。

▲取り組み箇所（七宗国有林）

忌避剤のみの対応では、時間の経過と共に忌避剤の効果が薄れることや、生長して新たに伸びた新芽が食害を受けてしまうこと、また、シカの生息密度が高まるにつれ防護効果が低下するなどの調査報告が示されたことから、捕獲を並行して行うことでその点を補おうと考えました。捕獲には、笠松式改良型のくくり罠を使用しています。

効率よくニホンジカを捕獲するためには、獣道（シカ道）を見つけることが肝心だと言われますが、明らかに獣道だと思われる場合でも、それが現在は使われていない古い道跡では意味がありません。その為、くくり罠と共にセンサーカメラを造林地の周りを囲むような形で設置し、実際にシカが往来するシカ道探しに活用しています。

センサーカメラによりシカの進入経路や移動ルートを探りながら、頻繁にシカが写るセンサーカメラの周囲にくくり罠の位置を調整するなどして捕獲効率の向上を図りました。

▲センサーカメラに写ったニホンジカ

その結果、捕獲を開始した平成30年度当時には、1年間にオス5頭、メス11頭、計16頭のニホンジカが捕獲されました。面積が約1・7㌶の造林地1箇所だけで捕獲されたその数字は、七宗国有林の全域で捕獲された年間捕獲頭数の過去5年間の平均である18頭に迫る数字となりました。他の箇所に比べて捕獲効率が優れる傾向は、現在でも継続しており捕獲効率の向上に有効な手法であると考えます。

また、実際にセンサーカメラに写った個体数が多かった月は、「出産期」の5月、「繁殖期」と言われる9月・10月と一致しており、それらの時季に活発に移動する事をうかがわせる結果となりました。

令和2年の11月にも現地を踏査して植栽木を確認しましたが、これと言った食害の痕は認められず良好に生育していました。

林分が開け、明るくなった箇所を好む習性があると言われるシカから、新植地への被害を防ぐうえで捕獲は有効な一手法であり、防護と同時に捕獲圧（個体数の急激な増加へのブレーキ）をかけ続けることが重要であると考えます。

▲ドローンを活用した見回り作業

また、設置後はこまめに行わなければならない見廻りについても、省力化に向けドローンを活用するなど、低コスト造林を目指して更なる向上を図って行きたいと考えます。

（岐阜森林管理署）

木の香る
ぎふの施設
96

木造化

第5コスモス苑（生活介護施設）

郡上市白鳥町白鳥字宮林429番地6

施設全景

施設概要

事業年度	平成30年度
事業主体	医療法人社団　福寿会
構造 延床面積	木造２階建て 993㎡
施設用途	１Ｆ　認知症対応型共同生活介護施設 ２Ｆ　短期入所生活介護施設
木材使用量 使用樹種	234㎥（県産材使用量　222㎥） ヒノキ、スギ等
全体事業費	213,840千円(建築本体分 130,239千円)
助 成 額	16,881千円 県産材需要拡大施設等整備事業 (公共施設等木造化支援タイプ(木造化))
設 計 者	荒井建築設計事務所
施工業者	澤崎建設　株式会社
工　　期	平成30年7月～平成30年12月

１階グループホーム「おおぞら」
施設利用者の様子

１階事務室

施設の経緯

郡上市内での介護施設の不足から、在宅介護の負担軽減を目的に、利用者とそのご家族の方からの要望にこたえる形で、第5コスモス苑を平成31年1月にオープンしました。

当施設は、利用者の身体状況に合わせ、1階をグループホーム「おおぞら」、2階をショートステイ「春うらら」とするとともに、フロア毎に設けた生活空間は、木をふんだんに用いたことで、利用者にとって温かく家庭的な雰囲気となっています。

２階ショートステイ「春うらら」

施設内
廊下

ここに注目！！

岐阜県産材のスギ、ヒノキをふんだんに使ったことで、木の温もりと香りに包まれた施設となっています。

利用者の様子

利用者一人ひとりが、スタッフの支援を受けながら、安らぎと温もりのある穏やかな日々を過ごしています。

■問い合わせ先
医療法人社団
福寿会　コスモス苑
TEL 0575-83-0178

シリーズ

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

11

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業

清流の国ぎふ森林・環境税事業推進事業は、清流の国ぎふ森林・環境税（以下「県森林・環境税」という。）を活用した取組みの広報や、各種事業の評価等を実施するものです。

令和2年度は以下の取組みを実施しています。

【県森林・環境税事業の広報】

県森林・環境税を活用した取組みを県民の皆様にご紹介するため「第９回緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラム」を開催しました。

●**日付**：８月６日(木)
●**場所**：岐阜県図書館　多目的ホール
●**内容**：
事例発表「人と森をつなぐ、ぎふ木育の取組み」
・大野町
・ぎなんプレーパークの会
施設紹介「ぎふ木遊館の魅力と今後の展望について」
●**参加者数**：
43人（新型コロナウイルス感染症対策のため、人数を制限）

第9回緑豊かな清流の国ぎふづくり県民フォーラム
（岐阜市）

【事業評価審議会の開催】

事業の透明性を確保するため、外部有識者等で構成する第三者機関「清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価審議会」を設置し、各施策の取組みへの意見や提案、事業実施後の評価を行っています。

開催	開催日	主な議事内容
第1回	7月28日（火）	・令和元年度事業の実績報告 ・令和元年度事業の事業評価
第2回	12月4日（金）	・令和３年度事業の計画案、予算案
第3回	3月22日（月）（予定）	・令和３年度提案事業の採択（予定）

第2回事業評価審議会
（岐阜県庁議会西棟）

【恵みの森づくり推進課】　●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（3012）恵みの森づくり推進課恵みの森づくり係まで

シイタケを科学して保存に役立てる

森林研究所●上辻 久敏

生シイタケは日持ちが悪く変色しやすいという欠点があり、この対策技術の開発は、全国の産地で求められています。当所ではシイタケの保存技術の開発に取り組み、主な販売形態であるトレイに並べてラップしたパック商品を更に袋で密封して、通気を抑制（密封処理）することで、変色を抑制できることが分かってきました。

シイタケを変色させる物質は酸化で合成されることから、変色には酸化反応を促進する酵素が強く関与していると考えられます。収穫後のシイタケを粉砕し、シイタケ内部に存在する酸化酵素の働きを測定してみると、無処理のパック商品の場合、日数が経過するごとにシイタケ内部の酸化酵素の働きが上昇しました。一方、密封処理したパック商品では、逆に低下していました。

密封処理したパック商品は、いずれ開封することになりますので、密封期間が保存効果にどのように影響するのか、また開封後のシイタケはどうなるのか、密封期間の影響についても調査を行いました。

密封保存における開封の影響を調査するため、保存開始から20日間密封したままのもの、保存途中の密封13日目または15日目に開封するもの、および保存開始から20日間密封しない無処理の4つの保存条件でパック商品を比較しました。

その結果、保存途中で密封処理を停止して開封すると、抑制されていたパック商品の変色が進行しはじめることが分かりました（写真）。

また、保存20日目の酸化酵素の働きを測定すると、無処理で最も高く、次に密封13日目、15日目の順で働きが高まっていました。20日間密封処理のパック商品では、酸化酵素の働きは低下したままでした。経時的な測定の結果、密封処理により一時的に低下していた酸化酵素の働きが、開封後は徐々に高まってくることが分かりました。

現在進めている試験では、通気性の低い素材で密封し通気性を低下させた状態を保つ方が、酸化酵素の働きを低下させ、シイタケの変色抑制対策として有効であることがわかっています。しかし、通気性が低い密封処理により変色を抑制したとしても、保存期間が長くなると好まれない匂いであるシイタケの揮発性成分が蓄積する場合があります。揮発成分対策には、密封をどのタイミングで開封するかが重要になってきます。商品価値と保存期間を両立する最も適した密封条件を決定するため、引き続き技術開発を進めてまいります。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-33-2585
森林研究所まで

伐採作業をする三宅佳奈恵さん

『林業を志して！』

白川町林業担い手育成協議会

三宅（みやけ） 佳奈恵（かなえ）さん

白川町は岐阜県の中東部に位置し、森林面積は町土の88％、そのうち人工林は61％を占める東濃ヒノキの産地です。

町内には生産、流通、加工、建築が集結した林業・木材産業の拠点があり、一貫した連携体制をとっています。

しかし、人口減少や高齢化により林業従事者が減少していることから、新規従事者の確保・育成が課題となっています。

こういった事態を打破するために、白川町では、林業技術者とその指導者の養成を目的として令和元年6月に白川町林業担い手育成協議会（以下「協議会」と表記）が設立されました。

この協議会の事務局を担当しておられるのが、令和元年8月より地域おこし協力隊として白川町に赴任した三宅佳奈恵さんです。

今回は三宅さんにお話しを伺いました。

Q 白川町に赴任することになったきっかけは？

キャンプなどアウトドアや体を動かすことが好きなことから参加したボランティア団体の間伐作業をきっかけに林業に従事したいと思いました。

農林業の新規就業のイベントに参加したところ、森のジョブステーションの紹介から、白川町で地域おこし協力隊として新規林業従事者を募集していることを知り、希望する条件にもあったので、赴任することになりました。

Q 普段はどんな活動をしていますか？

協議会の指導者から伐採、作業道の作設、架線の架設など指導を受けながら林業に従事しています。

また、協議会の事務局として東濃ヒノキ白川市場協同組合に席を置き、研修会の実施や会員への連絡など事務の仕事もしています。

Q 協議会のメンバーは？

東濃ヒノキ白川市場（協）加藤一昭さんを設立発起人として、賛同者22名で設立しています。メンバーは20、30代の若手から70代まで幅広い世代にわたり、また、業態も一人親方、事業体、会社組織などさまざまです。

特に若手のメンバーは熱心で、研修会などで集まると、いつまでも林業について熱くあれこれと語りあい、ほんとうにみんな林業が好きなんだなと思います。

協議会メンバー：
神宮備林視察研修会にて

Q 協議会はどんな活動をしていますか？

林業技術者を育成する指導者を養成するための研修の開催、林業技術者を育成するための研修、新規就業者に対するチェンソーや防護服など装備への支援、安全講習などの受講に対する支援、協議会メンバーの情報交流のための現場見学会の開催などを企画しています。

令和2年度は、コンパス測量や森林経営計画制度研修会、神宮備林などの現地見学会など数ケ月1回ほど技術の研鑽と交流する場を企画しています。

指導者フォローアップ研修

Q 現在の活動にやりがいを感じますか？

林業に携わることは楽しいです。男性と比べて体力的に大変な時もありますが、やり終えた時はいつも達成感があり充実しています。

Q 今後はどんな活動をしていきたいですか？

人と森林をつなぐ仕事もしていきたいので準備を進めています。

4月以降には手作りしたハンモックで森の中でのんびりするアクティビティの開催を予定しています。

その他、グリーンウッドワークやブッシュクラフトなども企画して地域や都市部の人たちを集めて交流していきたいと思っています。

森の中で使うハンモックを手づくり

まっすぐな目でさわやかに語る三宅さん。地域おこし協力隊の任期終了後も白川町で林業を続けていきたいとのこと。

三宅さんを中心にベテラン、若手ともバイタリティある協議会のメンバーの熱心な活動により、白川町の森林整備が進むことを願います。

【可茂農林事務所　河原　多美子】

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0574-25-3111
可茂農林事務所林業課まで

地域の施業技術を引き継ぐ取り組み

～郡上市明宝小川日出雲地域～

■郡上農林事務所　林業普及指導員　和田 将也

郡上市明宝日出雲地域では、郡上森林組合が明宝財産区の所有山林において森林経営計画を実行監理する中で、財産区と共同して択伐林施業や直挿し造林を引き継いでいく取り組みが行われています。

今回は、郡上森林組合に現地を案内していただき、択伐林施業の現状や平成30年から始めた直挿し造林の検証とその技術を継承する取り組みについて取材した内容をご紹介します。

▲令和元年択伐
（本数率30%、スギ53年生、
日出雲1号、伐採後2,000本/ha）

択伐林施業の継承

明宝財産区の所有山林の一部では、択伐林型を維持しており、様々な林齢・階層構造の人工林による独特の風景が広がっています。

また、その管理記録も残っていることから、「森林施業の生きた見本」としても価値ある人工林となっています。

▲令和元年択伐
（本数率30%、スギ53年生、
日出雲1号、伐採後2,000本/ha）

その中で比較的初期に直挿し造林を行った人工林は、元々の人工林の更新伐と直挿し造林木（8,000本／ha）の保育、間伐を行った結果、令和元年の択伐で搬出利用が出来るまでになり、53年生で成立本数は2,000本／haとなりました。

挿し木（穂）技術の継承

郡上地域においてここ数十年間は、齢級構成から鑑みても間伐が中心的な作業となっていました。

しかし、人工林の齢級のピークが標準伐期齢を超え、主伐・再造林が増えつつある今、かつて直挿し造林を行っていた森林技術者が少なくなる中で、地域の生きた財産としてその技術を引き継ぐ必要があるという機運が高まってきました。

▲令和元年直挿し造林
（スギ・日出雲1号、本数3,000本/ha、
面積1ha）

▲令和元年直挿し造林
（スギ・日出雲1号、本数3,000本/ha、
面積1ha）

そこで、明宝財産区では、平成30年から毎年1haのスギの直挿し造林を試験的に行っていくこととしました。

直挿し造林を行うにあたっては、採穂をしなければなりませんが、その手順や方法が記録された技術資料が残っていなかったため、かつて実際にそれを行った地域の森林技術者の方々の記憶を頼りに実践し、その手順や留意点についても写真及び文書等で記録として残しました。

指導を仰いだ地域の森林技術者によれば、1本の母樹から20～30本の挿し穂を採取するとのことですが、活着性には差があるようです。

具体的には、日出雲1号は、活着はよいが、その反面、成林後に樹皮から気根が発生しやすい。それに対して、日出雲2号は、日出雲1号よりも活着はやや劣るものの、材質と耐雪性が高いとのことでした。

令和元年に直挿し造林を行った箇所は、1年半を経過した段階で7割ほどの活着率であり、活着しなかった箇所には、補植しないといけないものの、初めてにしては及第点に達した結果であったと言えます。

ニホンジカ対策について

ニホンジカに対しては、生息密度によって、忌避剤、幼齢木保護資材、防護柵といった対策を講じながら、出来れば、罠猟等による捕獲との併用が最も効果が高い獣害対策と言えます。

日出雲地域では、近年、ニホンジカの生息数が増えており、忌避剤ではなく幼齢木保護資材が必要になりつつあると判断されたため、令和2年の直挿し造林（令和元年の直挿しの補植）の際に試験施工しました。

保護資材内の生育木を約半年後に調査したところ、枯損木はほとんど無かったので、直挿し造林と幼齢木保護資材の組み合わせは問題ないと分かりました。

▲令和2年5月直挿し捕植
（スギ・日出雲1・2号、本数3,000本/ha、面積各0.01ha）

▲幼齢木保護資材内の生育木

まとめ

択伐後の樹下植栽（直挿し3,000本／ha）を実際に進めるなか、施業技術の伝承は、試験段階から徐々に実践段階に入りつつあります。

また直挿し造林には、若齢級かつ採穂し易い適当な樹高の立木が必要なことから、採穂用に頂芽を剪定した立木を確保する取り組みを進めています。

日出雲地域の経営林からは、学ぶべき施業技術がまだたくさんあると考えますので、引き続きその後の経過を追っていきたいですし、平成30年から始まった取り組みが結実することを期待するとともに、林業普及指導員として支援していきたいと思います。

今回の取材を通して、地域で行われている様々な森づくりは、地域の財産であり、地域が主体となって森林づくりを進めていくためには、こうした地域の取り組みとそれに関連する施業技術を伝承する中で、次の後継者を育てていくことが大切であるという思いを強くしました。

▲令和元年択伐後の直挿し造林
（スギ・日出雲1号、本数3,000本/ha、面積1ha）

▲採穂用に頂芽を選定したスギ

▲択伐林内に開設された林内路網

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-67-1111㈹
郡上農林事務所まで

スマート林業通信 ⑨

林業安全教育360VRの体験

林業は全産業の中で最も労働災害発生率が高く、特にチェーンソーを用いた伐採・造材作業中の死傷災害が多く発生しています。

そこで、労働災害を未然に防止することを目的に全国森林組合連合会と農林中央金庫が開発した、チェーンソーによる伐採現場の危険性を疑似体験できるVR機器の体験会を開催しました。

VRの内容は他の技術者が伐倒した木が自分に向かって倒れてきて被災するという内容で、なぜ被災することになったのか、伐倒の手順に誤りはなかったかなどの解説を聞いて正しい伐倒方法を学ぶ教育ツールになっています。

本機は岐阜県森林組合連合会に借りていただき、1日目は森林組合と岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム会員等の体験会、2日目は行政職員、3日目は森林文化アカデミーの授業で活用し、計78人が体験しました。

恐怖を感じるような内容ではありませんが、木が自分に向かって倒れてくると体を避けたり、思わず声が出たりして、みな楽しそうにVRを体験し、正しい伐倒の手順を確認しました。

森林文化アカデミーではこうした新しい技術を林業関係者のみなさまに紹介できるよう引き続き情報収集に努め、研修会等を企画していきます。

林業安全教育360VR
体験の様子

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-35-2535
森林文化アカデミー
スマート林業推進係まで

環境保全モデル林に行ってみませんか ~その1~

岐阜県には、環境保全モデル林があります。この林は、既存の林業では採算が合わず放置されている里山林を「環境への配慮と森林資源を活用した新たなビジネスの創出」をキーワードに県が整備し、地元が活用する中で里山を再生するモデルを作ることを目的としています。

平成24年度から平成28年度までの5年間で5箇所のモデル林が整備され、現在様々な活動に利用されています。これから3回に分けて、5箇所のモデル林の状況を紹介します。一度モデル林に行ってみませんか。

第1号環境保全モデル林「美濃市古城山」

・所在地：美濃市字古城山（県立武義高等学校東側）
・面　積：約18・4 ha
・現　況：広葉樹林（広葉樹・アカマツ、ヒノキ、竹など）が主。

令和元年度は、古城山環境保全モデル林連絡協議会による「ローパワー体験」「親子で伐採体験」「薪づくり体験」等のイベントのほか、森の野いちご会による森のようちえんイベント等に活用されました。

入口付近に案内看板があります。写真の展望休憩所まで行ってみると美濃市が一望できるかも。

第2号環境保全モデル林「可児市我田の森」

・所在地：可児市久々利字大岩（花フェスタ記念公園の東隣）
・面　積：約11・6 ha
・現　況：コナラ、アベマキなどの落葉広葉樹とヒノキを主体とする美濃地域の典型的な里山林

令和元年度は、里山クラブ可児による「森の学校」（炭焼き窯でのピザ焼き体験、竹の器によるカレーライス体験等）、「自然学校」（棚田への田植え、田んぼの生物調査、稲刈り体験、餅つき体験）等のイベントのほか、子供の庭による野外保育活動等に活用されました。

管理棟の裏に広場、ビオトープ池（木製の橋のところ）、棚田がありますよ。

第3号環境保全モデル林「土岐高山城跡の森」

・所在地：土岐市土岐津町高山字御屋敷（土岐市役所の東）
・面　積：約10・8ha
・現　況：コナラ・カシ類の広葉樹が中心で、土岐市街地に立地している都市近郊里山林。区域内に「高山城跡」「穴弘法」がある。

令和元年度は、土岐津町まちづくり協議会による、「カブトムシ観察会」「草木染＆藍染体験」「クリスマスリース工房」「シイタケ菌打ち体験」のイベント等に活用されました。

高山城跡と近くにある展望休息所です。それぞれから見る風景で土岐市の昔と今が実感できるかも。

記載内容（写真を除く）は、岐阜県林政部恵みの森づくり推進課のホームページによります。それぞれのモデル林の位置図、活動内容などの詳細は岐阜県林政部恵みの森づくり推進課のホームページ（https://www.pref.gifu.lg.jp/page/8968.html）をご覧ください。
（HP掲載場所）
・モデル林の所在地等：各モデル林の関係資料にある「概要書」
・モデル林でのイベント等の開催状況：各モデル林の利活用実績

【山林協会　瀬上】

森林・林業関係イベントカレンダー（4月）

林業者向け

開催日	行事名等	内　容　等（概要、定員、受講料、申込期限など）	場　所 / 申込（問合せ）先／TEL
4月14日㈬～4月16日㈮	**伐木・チェーンソー作業従事者特別教育**	●講習時間：14日 学科　8:50～17:10 15日 学・実　8:50～12:00 16日 実技　8:30～17:40 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ●定　員：30名(定員になり次第締め切ります。)	14日（学科）15日（学・実） ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東2-5-6） 16日（実技） 県森連岐阜林産物共販所（関市倉知字物見山） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195
4月20日㈫～4月23日㈮	**フォークリフト運転技能講習** 【受講資格】自動車普通運転免許所持者	●講習時間：1日目　学科　8:50～17:05 学科試験　17:10～18:10 2～4日目　実技・試験　8:00～17:30 ●申　込：開催日の20日前まで ●受講料：32,450円(本代含む)(振込み) ●定　員：20名(定員になり次第締め切ります。)	学科　伊自良中央公民館（山県市大門912-1） 実技　ぎふ農協旧伊自良共選場（山県市洞田127-5） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195
4月28日㈬	**刈払機取扱作業者安全衛生教育**	●講習時間：学科　9:00～15:20 実技　15:30～16:30 ●申　込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定　員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター（岐阜市六条江東2-5-6） 林材業労災防止協会　岐阜県支部 電話　058-275-0192　FAX　058-201-1195

COLUMN

コラム

コロナ禍では気軽に外出できないため、運動不足になりそうです。そんな問題を解決するため、出勤前の1時間弱のウォーキングを始めてもうすぐで1年になります。今では、早起きも全く苦ではありません。

歩いていると、色々な自然が目に入ってきます。夏頃に花の縁が細いひも状となっているレースのような白い花を発見しました。写真を撮って画像検索したところ、カラスウリと考えられました。カラスウリの花は日没後に咲き、翌朝にはしぼんでしまうそうです。早起きをしたおかげで、少し得をした気分になれました。コロナ禍であるからこそ、身近なところの意外な発見や癒しに目を向けていきたいと思います。

「森林のたより」編集委員　片桐 奈々

イベント情報　4月1日発行

連載
- 山の歳時記（188）
- 山のおじゃまむし（357）

清流と森と親しむ
- 森林と人を活かす知恵（99）

木と親しむ
- 岐阜県の公共木造建築（97）

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術
- 研究・普及コーナー

市況情報　**その他**

4月号予定

木材市況　県森連　岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎥当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1752回 岐阜共販所 2月9日	すぎ	3m	16～18cm	12,000	—	単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格
		4m	16～18cm	11,000	—	
			20～22cm	12,800	—	
			24～28cm	11,600	18,000	
			30cm以上	10,200	25,300	
		6m	16～18cm	—	—	
	ひのき	3m	16～18cm	17,000	—	
			20cm以上	14,000	75,000	
		4m	16～22cm	17,000	—	
			24～28cm	13,500	—	
			30cm以上	15,000	65,000	
		6m	16～18cm	—	—	
第1330回 飛騨共販所 2月10日	すぎ	3m	16～22cm	11,000	—	
		4m	24～28cm	11,000	—	
			30cm以上	10,000	—	
	ひのき	3m	16～18cm	16,000	—	
		4m	20～22cm	15,000	—	
			24～28cm	15,000	—	
			30cm以上	15,000	170,000	
		6m	16～20cm	20,000	—	
	まつ	4m	24～28cm	8,000	—	
			30cm以上	9,000	12,000	
	ひめこ	4m	24～28cm	12,000	—	
			30cm以上	13,000	16,000	
		5m	30cm以上	16,000	—	
	くり	4m	24cm以上	15,000	33,000	
第1661回 東濃共販所 2月10日	すぎ	3m	16～22cm	12,000	—	
		4m	24～28cm	11,600	—	
			30cm以上元	13,000	41,000	
	ひのき	3m	16～22cm	16,500	29,000	
			24～28cm	13,000	31,000	
			30cm以上元	16,500	47,000	
		4m	13cm以下	9,000	—	
			24～28cm	13,600	28,000	
			30cm以上元	17,500	40,000	
		6m	18～22cm	22,000	—	
	まつ	4m	22～28cm梁	5,000	—	
			30cm以上元	6,000	—	

木材市場

【商況】

各方面、在庫不足により活発な応札。良材、並材ともに入札多数。スギ4m元木良材には応札多数。スギ並材3m、4mとも非常に需要が高く強保合。ヒノキ4m元木良材30上、40上強含み。ヒノキ3m、4m柱、土台取り価格は保合。4m土台取りが人気。ヒノキ2m元木は直材24上、引き合い強。合板向けはスギ、ヒノキともに値戻し。ラミナ向けも併せて原木不足から強保合。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギ3･4m並材は保合。良材には人気が集まり応札旺盛。ヒノキは地元の買い方も多く全般に買い気が見られ並材、良材が完売。スギ大径木欠点材は応札低調。広葉樹は全般に人気が集まり応札旺盛で完売。他の高値は、ヒノキ2m×44cm@35,000円　ブナ2.1m×36㎝@35,000円　カキ3m×24㎝@50,000円　マクルミ3m×44㎝@30,000円　アサダ2.2m×32㎝@27,000円　キハダ2m×34cm@33,000円(飛騨)

全般的に、スギ、ヒノキ、並材(16～22cm)は、応札旺盛にて強保合。ヒノキ元木、良材2m、3m、4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))は応札旺盛にて強保合。スギ元木良材には応札旺盛強保合。ヒノキ並材3m、4m(16～22cm)は、需要があり価格は上向き気配にて強保合。スギ並材は、3m、4m(16～28cm)状況が徐々に緩和し強保合。(東濃)

製品卸売標準価格 (1月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm) 長	巾	高	等級	m³当り価格	(本(枚)単価)	前月比較
スギ	柱	3000	105	105	1等	55,000	(1,819)	→
	間柱	3000	105	30	1等	55,000	(520)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
	柱	3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
		3000	120	120	(東濃桧)特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
Wウッド集成材	柱	3000	105	105	国産5層	59,000	(1,920)	→
		3000	120	120	国産5層	59,000	(2,520)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場　全てKD材)

外材市況 (1月期)

1㎥当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	313	米栂	ヘム(アラスカ産)	292
	コースト(目荒)	317	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30㎝上、米松コーストのみ大阪相場)

木材用語一口メモ

OSB (配向性ストランドボード)

Oriented Strand Board (オリエンテッド･ストランド･ボード) の略。切削状にした木片 (ストランド) の向きをそろえて並べ (オリエンテッド=配向性)、接着剤で高温圧縮して成形したボード。構造用面材や住宅の屋根、壁及び床の下地材に用いられる。